



田尻町議会だより

たじりの風

8560

Vol.102

平成27(2015)年
2月1日発行

■発行／大阪府田尻町議会 ■編集／議会だより広報委員会 大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺375番地1 電話 072-466-5000

ご成人おめでとろございます



今年は137名の方が新成人になりました。

本年1月5日より本庁舎1階の
情報公開コーナーにおいて、
昨年度の政務活動費の収支報告
書等を公開しています。

主な内容

- ★ 一般質問 2 頁
- ★ 委員会報告 5 頁
- ★ 行政視察報告 7 頁
- ★ 広報研修報告 7 頁
- ★ この人にインタビュー 8 頁

一般質問

- 大門 久恭 議員 1. 警察学校との連携について

- 坂口 実 議員 1. ふれ愛センター2階の有効活用を
2. ごみ焼却場の将来について

- 東 小夜子 議員 1. 不妊治療費助成について
2. 産後ケアについて
3. 子育て支援について
4. 幼稚園教育について
5. 学校教育について
6. 介護について

- 仁部 順行 議員 1. 休耕田、耕作放棄地の対策を

- 吉開 育子 議員 1. 介護保険料引き下げに一般会計の繰り入れを

- 小川 雄司 議員 1. 総合体育館建設計画について
2. 「J:COM防災情報サービス」の導入を

※この一般質問の内容は、各議員の責任のもと記載しております。



大門 久恭 議員

問 警察学校との連携を

答 今後も粘り強く働きかけていく

問 りんくうポート南に大阪府の警察学校ができてまもなく2年が経とうとしている。生徒が約800人在籍しており、町民の10人に1人が警察官ということで、田尻町防犯連絡協議会も「日本一安全なまち田尻町」とRPしている。しかし実際には警察学校と連携するような事業は行っていない状況である。

一般的な学校と異なり、連携することが難しいとは思いますが、例えば年末夜警に有志として参加していただければ、地域住民とのコミュニケーションが図られるとともに犯罪の抑止力の向上につながるのではないかと。年末夜警に限らず、犯罪抑止力となるような何らかの連携を行うべきではないかと。



大阪府警察学校

答 **生活環境課長** 町としても、日々の厳しい研修を修了し警察官として、田尻町から巣立ち立派に活躍されることを切に願っている。また、警察学校のある町、10人に1人が警察官であるということが町民に身近に感じられ、防犯意識の高揚に結びつくことを望んでいる。現在、警察学校の協力のもと田尻町防犯連絡協議会では、田尻町安全なまちづくり推進協議会との連名で、「日本一安全なまち田尻町」をタイトルにしたポスターの作成を行い、年末夜警に向けた啓発と防犯活動の向上に取り組んでいただいている。警察学校の存在効果を糧として今後も安全・安心なまちづくりを進めていく。



坂口 実 議員

問 ふれ愛センター2階の有効活用を

答 来年度計画事業を見極めてから

問 ふれ愛センターは、平成10年に開館され2階はデイサービスセンターとして計画され、現状は介助浴場・厨房・展示ギャラリー・アトリエが閉鎖となっている。公民館との重複した利用もあり、2階テラススペースを含め民間活力を取り入れた柔軟な企画運営を要望する。

答 **福祉課長** 現在、第6期介護保険計画を策定しており、その中で介護予防事業のより一層の充実が求められているので、それも加えて施設を有効活動していきたい。

問 他の自治体では、郵便局・コンビニ・各種民間の教室関連に貸しているがどうか。

答 **福祉課長** 施設の有効活用を見極めていきたい。



東 小夜子 議員

問 3歳児教育は必要では

答 必要であると考えている

問 保護者の要望が多い3歳児教育を充実させることは子どもの教育にプラスになるのみならず、家庭や地域での孤立化を事前に防ぐ効果も期待される。3歳児教育についてどのように考えているのか。

答 **こども課長** 3歳児は、乳児期に次いで急速に成長し、人格のものが形成される時期であるため、発達段階に応じた質の高い教育、保育及び子育て支援が提供されることは重要である。また、3歳児は乳児期から抜け出して安定した面と社会性の芽生えや文化的な芽生えが見られるため集団生活に入るのに適しており、3歳児教育は必要であると考えている。

町長 施政方針で示していきたい。

問 ごみ焼却場の将来は

答 町外移転・建設に向けて協議する

問 ごみ焼却施設は、平成39年に廃炉となると、清掃施設組合では計画されている。現在は熊取町も加えた1市2町で、事務レベルで協議していると報告された。田尻町外へ新焼却場建設を要望する。今後の方針を問う。

答 **生活環境課長** 平成39年建設を目指し協議を重ねており、熊取町も含めた広域連携による廃棄物処理については、事務レベルで意見交換している。また、町外移転については、今後とも鋭意協議していく。

問 10,250㎡の跡地計画はどうか。

答 **生活環境課長** 構成団体と検討していきたい。

問 本町の年間ごみ量は平成22年が2,200t、平成25年が1,700tとなっており、減量化がすすんでいる。ごみ量を年度運営費の負担割合に反映できないか。

答 **住民部長** 負担のあり方も今後協議する。

町長 新炉を建設するときは田尻町外でということは、個人的には同じ意見である。跡地利用などについては、今後しっかりと3者で話し合いたい。

問 男性不妊治療費の公費助成は

答 平成27年度から実施する

問 平成26年3月会議で、町長は不妊症治療費を大阪府不妊治療助成金との差額を平成27年度より公費助成すると答弁した。

男性不妊治療費の公費助成はどう考えているのか。

答 **健康課長** 男性不妊も含めた適正な支援を検討している。



たじりエンゼル



仁部 順行 議員

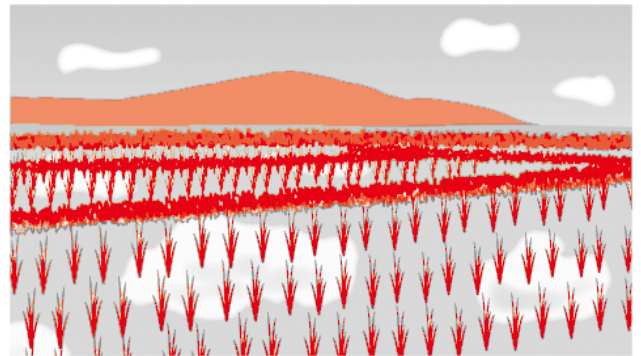
問 休耕田、耕作放棄地の対策を

答 農業者、土地所有者の協力があれば検討する

問 本町に限らず近年少子高齢化に伴い、農業に携わる方の高齢化や後継者不足などで、休耕田や耕作放棄地が多くなっている。また、営農をしたくても道路が狭い、道路がない等で営農に必要な農業用機械が使用出来ないのが現状である。このような状況の中、農道整備を進めるのが得策と思うが、町長はどのように考えているのか。

答 **産業振興課長** 本町においても農業従事者の高齢化と後継者不足等により、休耕田や耕作放棄地等その対応策に苦慮しているところである。また、農作業の効率や利便性の観点からも未接道農地については、農業従事者の方々が大変苦労していることも十分理解

している。提案されている農道整備については、土地の私権に加え農業従事者の方々の農地利用計画や農業経営の方向性によって大きく作用すると考えている。本町として道路整備状況も含めた土地所有者等の取りまとめや、全面的な協力を得られたことを前提に土地改良区と整備したうえで、検討し調整する。



吉開 育子 議員

問 介護保険料の引き上げに一般会計から繰り入れを

答 非常に難しい

問 平成26年10月7日現在で4月からの田尻町の第6期保険料基準額月額試算は、現在の4,870円から1,551円も高い6,421円である。保険料伸び率は31.8%、府内で9番目に高い金額である。今でさえ町民の方から「介護保険料が高すぎる、引き下げて欲しい」という声が多数寄せられている。また、共産党議員団が行った町民アンケートでは、「引き下げ・据え置き」を望むが8割である。厚生労働省は、「一般会計を繰り入れない」原則をもっていても禁じる法令上の規定も罰則もないということを言明している。原町長は3月会議で私の質問に対して「介護保険料は上げない方向にしたい」と答弁された。保険料値上げを圧縮するために一般会計の繰り入れを決断していただきたい。

答 **町長** 介護保険料を上げたくないというのはもちろんそう思っている。だからといって、一般財源から繰り入れるというのは別問題で非常に難しい。現制度に基づいて算出した結果、保険料が上がっていくのであれば今のところ仕方がない。



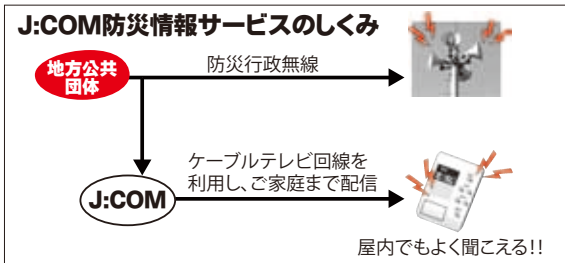


小川 雄司 議員

問 放送が建物内でも聞こえる
防災ラジオの導入

答 ジェイコム防災情報などの
体制を検討したい

問 平成26年10月13日夜台風19号による豪雨の最中の町内放送は「何を言っているのか、わからなかった」と多くの苦情をいただいている。こうした課題を解決するため、高槻市ではジェイコムと提携し、防災情報サービス提供を始めた。FM防災ラジオの導入で「放送が建物内でも聞こえる」ようにした。田尻町でも実現可能ではないか。



答 **危機管理対策PT課長** 田尻町は現在、防災行政放送のデジタル化に取り組んでいる。ジェイコム防災情報などの体制を検討していきたい。

問 総合体育館建設計画について、
町民の疑問に対して説明を

答 今後予定している
基本計画で検討したい

問 原町政が一方向的に推進しようとしている総合体育館建設計画において、共産党議員団が実施した町民アンケートには「町民の要望がどのように高いのか。完成後の利用人数、稼働率などの想定を具体的に公開してほしい」などの疑問が届いている。この疑問に対して説明していただきたい。

答 **事業部長兼スマートウエルネス推進PT課長**
施設の具体的な規模や機能については、今後予定している基本計画で検討したい。

委員会報告

総務建設常任委員会

委員長 仁部 順行

総務建設常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(12月8日開催)

◎田尻町消防団員等公務災害補償条例一部改正の件
(条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今回の改正により、具体的にはどうなるのか。

答 これまで、遺族補償年金や障害補償年金を受給する方は、児童扶養手当を受給することができなかったが、次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の施行に伴い、平成26年12月から児童扶養手当額より年金額が低い場合は、その差額分の児童扶養手当を受給することができるようになるものである。

◎平成26年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件
(2,472万8千円の増額) 【全会一致で可決】

問 10月13日の台風19号の豪雨により、南海本線のアンダーパスが完全に水没してしまったが、排水設備移設改修工事を行えば、今回起こったような事態は防げるのか。

答 今回の水没の原因については、ポンプの故障や目詰

まり等ではなく、台風19号の豪雨が予想を上回る降水量であったため、付近水路等からの越水がポンプ能力以上に流入したことにより、制御盤が水に浸かりポンプが停止してしまったものである。

現在制御盤は、若干の浸水には耐えるように地下道の最下部にあるポンプ室の上部に設置されているが、今回計画している工事は、豪雨等で地下道が完全に水没しても制御盤が浸水しないように制御盤自体を地下道の海側出入り口の上側壁に取付けるものである。これにより、今後もし地下道が水没した場合、今回のように消防ポンプ車で排水しなくても、一定の時間で排水することができるようになる。

◎平成26年度田尻町下水道事業特別会計補正予算(第1号)の件
(16万1千円の減額) 【全会一致で可決】

問 人事異動に伴って給与等を減額しているが、これは今年の春の時点での人事異動によるものなのか。

答 今回の人事異動に伴う減額補正は、本年4月人事異動によるものである。

◎平成26年度田尻町水道事業会計補正予算(第1号)の件

(136万5千円の減額) 【全会一致で可決】
・人事異動に伴う給与等の減額及び、人事院勧告に基づく給与等の改正に伴う補正予算である。

文教厚生常任委員会

委員長 伊藤 幸男

文教厚生常任委員会に付託されました案件の審査結果、並びに経過報告。(12月9日開催)

◎田尻町老人医療費の助成に関する条例一部改正の件 (条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今回の改正は、国が指定する疾患が平成27年1月1日から見直されることに伴うものであるが、国の指定難病から外れる3疾患とはどのような病名なのか。

答 今回、指定難病から外されたのは、「難治性肝炎のうち劇症肝炎」、「重症急性膵炎」及び「スモン」となっている。



問 なぜ、この3疾患が指定難病から外れたのか。

答 「難治性肝炎のうち劇症肝炎」及び「重症急性膵炎」については、指定難病の要件である長期療養を必要とすることに合致しないため指定難病から外れた。また、「スモン」については、特定の薬剤により発症することが明確であり、当該薬剤の使用が禁止されている現状において、新規患者が生じる可能性がほぼ無いため指定難病から外れた。ただし、「スモン」については、老人医療費助成の対象からは外れるが、国の特定疾患治療研究事業として引き続き医療費助成の対象となっている。

◎田尻町国民健康保険条例一部改正の件 (条例の一部改正) 【全会一致で可決】

問 今回の改正については、出産一時金の加算額を引き下げることになっている。しかし、出産費用の実勢価格が上昇傾向にあることから、その引き下げ分を出産一時金の本体部分に追加することで、現行の総額である42万円を維持することになっている。これは被保険者にとっては良いことであるが、本町の国民健康保険被保険者が出産した人数については、今年度と昨年度ではどうなっているのか。

答 出産一時金の支給件数は減少傾向となっており、今年度は現在のところ0件となっている。また、昨年度は4件支給している。



◎田尻町保育所における保育に関する条例を廃止する条例制定の件 (条例の制定) 【全会一致で可決】

・「子ども・子育て支援法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」の施行により



「児童福祉法」が改正され、保育を行う基準について、市町村条例に委任する規定がなくなり、以後は「内閣府令(子ども・子育て支援法施行規則)」に基づき、実施することになるための条例制定である。

◎平成26年度田尻町一般会計補正予算(第4号)の件 (2,472万8千円の増額) 【賛成3、反対1で可決】

問 なかよし学級の6年生までの受入れ拡充に伴って122万円の備品購入費が計上されているが、どのような備品を購入するのか。

答 購入する備品については、折り畳み式の机、ジョイントマット、児童用ロッカー及び下足箱を予定している。

反対討論 議案第51号の一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件で反対しており、この補正予算にも人事院勧告に伴う予算が反映されているので反対である。

◎平成26年度田尻町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)の件 (122万8千円の減額) 【賛成3、反対1で可決】

・人事異動及び人事院勧告に伴う補正予算である。

反対討論 議案第51号の一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件で反対しており、この補正予算にも人事院勧告に伴う予算が反映されているので反対である。

◎平成26年度田尻町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)の件 (17万9千円の減額) 【賛成3、反対1で可決】

・人事異動及び人事院勧告に伴う補正予算である。

反対討論 議案第51号の一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件で反対しており、この補正予算にも人事院勧告に伴う予算が反映されているので反対である。



◎平成26年度田尻町介護保険特別会計補正予算(第3号)の件 (1,177万8千円の増額) 【賛成3、反対1で可決】

問 要介護認定者数の伸び率はどうなっているのか。

答 平成24年度の要介護認定者数は345人であったが、平成25年度は377人となっている。

反対討論 議案第51号の一般職の職員の給与に関する条例一部改正の件で反対しており、この補正予算にも人事院勧告に伴う予算が反映されているので反対である。



文教厚生常任委員会行政視察報告

文教厚生常任委員会

副委員長 吉 開 育 子

当委員会は千葉県睦沢町のスマートウエルネス事業と静岡県長泉町の健康推進事業を具体的に知るため行政視察を実施しました。

平成26年11月5日(水) 長生郡睦沢町

睦沢町は、田尻町より1,000人ほど人口が少ないですが、面積は約7倍もある山里の自然豊かな町です。人口減少・少子高齢化が急速に進んでいることから、町の活性化と町民の健康寿命の延伸を図るために「地域再生・健幸のまちづくり計画」を策定（公募などで選ばれた町内外の79人がワークショップを開き、住民と一緒に町の将来像について話し合いを重ねた）しています。

健康づくりには既存の運動施設を有効利用することやハイキングコース・道路などを補修し、1日9,000歩以上歩いてしまう「健幸歩行コース」を13ヶ所計画しています。

また、町の健幸づくりに関するイベントに参加するとポイントが貯まり、レストランや市場でのイベント時には引換券として使え、楽しく健康増進の充実を進めています。

※「スマートウエルネス」とは、自治体が住民にウォーキングや運動を促し、健康寿命の延伸を図るものです。
※住民一人ひとりが健康で幸せに生活してもらうという意味から「健幸」と表記。

11月6日(木) 駿東郡長泉町

長泉町は、静岡県内で唯一、人口・出生数が増えている町でもあります。そして、豊かな財政力で子どもの医療費助成は中3まで完全無料、保育料の負担軽減助成などの少子化対策も進んでいます。長泉町では「健康寿命の延伸」を図るために町民の健康づくりを推進する施設として、長泉町健康づくりセンター「ウエルピアながいずみ」を建設（平成25年8月オープン）し、この施設を拠点に健康をテーマとした教室・イベント等を開催し

ています。

そして、健康づくりのイベント参加はもちろんのこと、体を動かす（移動手段を自動車から「徒歩」「自転車」「公共交通機関」に変える）、栄養バランスの良い食事をとる、歯磨きなどをするだけでもポイントが貯まる「ながいずみ健康マイレージ」を平成25年度から実施し、楽しく健康づくりができる取り組みを行っています。また、「健康づくり情報」のメール配信サービスも実施しています。

「ウエルピアながいずみ」は建築面積4,055.91㎡の2階建てとなっており、アリーナ（1,770㎡）、25mの温水プール（1,050㎡）、運動スタジオ、マシンルームなどの運動施設と、健康増進課が入っており、町民の健康に関する事業を行っています。また、この施設を中心として周囲に整備された健康公園にはソフトボールが2面取れるグラウンド、ウォーキングコース、芝生が広がるニコニコ広場などがあり、視察当日は、大勢のお年寄りがグラウンドで生き生きとグラウンドゴルフをしている様子を見学することができました。

今回視察させていただいた2町の「健康づくり事業」については、既存の施設を活用することや仕事等で忙しい方でも健康づくりができる工夫をしており、とても参考になりました。



長泉町での視察風景

第81回 町村議会広報研修会報告

わかりやすい「議会だより」づくりを学ぶ

議会だより広報委員会 副委員長 吉 開 育 子

日程と内容

- 10月21日 東京・砂防会館にて
 - ・「伝える広報」から「伝わる広報」へ
 - ・広報誌面デザインの基礎知識
 - ・写真の見方、考え方
- 10月22日 全国町村議員会館にて
 - ・議会広報クリニック

高木議長と二人で町村議会広報研修会に参加しました。今回は、「読み手にとってわかりやすい議会だよりづく

り」という研修内容でした。

初日は、「短い文章でわかりやすく伝える方法」、「読みやすい書体」、「写真の工夫」を学びました。

2日目は、9町村の議会だよりをパワーポイントで映し出し、講師がそれぞれの良い点、改善すべき点、また写真やイラストの入れ方など、具体的な指摘をしながら批評してくれたので、とても参考になりました。

今回の研修で学んだことを今後の議会だよりに生かせるようにしたいと思います。

この人にインタビュー

田尻町農業委員会
会長 仁部 憲 男さん (67)

Q 農業委員会の組織と内容を教えてください。

A 委員の定数は17名ですが、現在は欠員がでているので13名です。委員会では田尻町の農地や農政全般を協議・決定しています。また、保育所・幼稚園・小学校の子どもたちを対象に、米づくり体験等を実施したり、田尻漁港で泉州黄たまねぎ祭を開催しています。

Q 田尻町の農業課題は？

A 全国的にも同じですが、高齢化と後継者問題が一番の課題です。それに相続などで田尻町外の方が所有者となって遊休地が増える傾向にあることです。遊休地が増えると、害虫が発生したり雑草の種が飛散したりして、農家だけでなく近隣住宅にも迷惑をかけることになります。

Q 農業委員会としての課題は？

A 農業政策は国が主導で大きく改革される予定です。例えば農業委員の定数を減らし、農地利用適正化推進委員（仮称）を置くという話もあります。まだまだ骨格が見えていませんが、それらに対応した改革を田尻町でもしていく必要があります。



会長(左)にインタビューする明貝委員と大門委員(右)

災害対策特別委員会がDIG訓練をしました

去る12月18日、災害対策特別委員会がDIG訓練（簡易型図上訓練）を実施しました。



災害対策特別委員会が泉佐野市中央ポンプ場を視察しました

去る12月25日、災害対策特別委員会が泉佐野市中央ポンプ場を視察しました。



田尻町議会のチョット教えて

Q DIG訓練ってナニ??

A 災害図上訓練のひとつで、災害図上訓練とは地図を用いて地域で大きな災害が発生する事態を想定し、地図と地図の上にかける透明シート、ペンを用いて、危険が予測される地帯または事態をシートの上書き込んでいく訓練のことです。ゲーム感覚で簡単に出来ることや、完成したシートがそのままハザードマップに活用でき、災害状況等を可視化できる等という利点があります。Disaster（災害）、Imagination（想像力）、Game（ゲーム）の略で、ディグと読みます。